

株主資本等変動計算書

第53期（自平成18年4月1日 至平成19年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本							評価・換算差額等			純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
		資本 準備金	利益 準備金	その他利益剰余金	固定資産 圧縮積立金	繰越利益 剰余金						利益 剰余金 合計
平成18年3月31日残高	948,775	1,128,995	61,000	4,040,000	188,173	△1,369,769	2,919,403	-	4,997,174	57,280	57,280	5,054,454
事業年度中の変動額												
別途積立金の取崩（注）				△1,440,000		1,440,000	-		-			-
圧縮積立金の取崩（注）				△ 6,386		6,386	-		-			-
圧縮積立金の取崩				△ 6,386		6,386	-		-			-
剰余金の配当（注）						△ 12,910	△ 12,910		△ 12,910			△ 12,910
当期純利益						114,693	114,693		114,693			114,693
自己株式の取得							△ 5,620	△ 5,620				△ 5,620
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）										△ 12,467	△ 12,467	△ 12,467
事業年度中の変動額合計	-	-	-	△1,440,000	△ 12,773	1,554,555	101,782	△ 5,620	96,162	△ 12,467	△ 12,467	83,694
平成19年3月31日残高	948,775	1,128,995	61,000	2,600,000	175,399	184,786	3,021,186	△ 5,620	5,093,336	44,812	44,812	5,138,149

（注）平成18年6月27日の定時株主総会における利益処分項目であります。

キャッシュ・フロー計算書

第53期（自平成18年4月1日 至平成19年3月31日）

（単位：千円）

科 目	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,175,141
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	542,021
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	566,960
IV 現金及び現金同等物の増加額	66,158
V 現金及び現金同等物期首残高	1,380,480
VI 現金及び現金同等物期末残高	1,446,638



株式会社 **スガイ**・エンタテインメント

〒060-0063 札幌市中央区南3条西1丁目8番地
TEL011-241-3951

第53期 報告書

（自平成18年4月1日 至平成19年3月31日）

SUGAI ENTERTAINMENT CO., LTD.

事業の状況

アミューズメント施設業界におきましては、機種が増えたネットワーク型ゲームについては、堅調に推移しましたが、プライズゲーム景品のヒット作が少なく、またムシキング等のキッズカードゲームがピークを過ぎ、総じてやや低調に推移しました。映画興行界におきましては、アメリカ映画のヒット作不足に対する邦画の健闘と、引き続きシネマコンプレックスの増加がみられました。

このような中、当社は、ヒットゲーム機の積極的な導入、5月に超大型複合アミューズメント施設ディノスノルベサ、6月に大阪府八尾市、茅部郡森町、10月に札幌市東区のゲオ店舗内にゲームコーナーをオープンしました。

当期の売上高につきましては、映画部門が堅調に推移したこと、ボウリング部門が下期より回復したこと、ディノスノルベサ、ゲオ店舗内にオープンした4ゲームコーナー（平成18年2月オープンのアミューズメントパークSHOWA含む）の売上が寄与したことなどにより、72億80百万円（前期比5.0%増）と増収となりました。

営業利益につきましては、ディノスノルベサの開業負担、並びにゲーム部門における原価のかかる機種（コンテンツ使用料のかかるゲーム、カードを使用したゲーム、オンラインゲーム等）の構成比の上昇による経費増等により2億55百万円（前期比10.4%減）になりました。経常利益につきましては、アミューズメント機器処分損の減少等により1億11百万円（前期比6.3%増）になりました。当期純利益につきましては、固定資産売却損等2億91百万円の特別損失の発生がありましたが、固定資産売却益3億51百万円、役員退職慰労引当金戻入益49百万円の特別利益の計上により、1億14百万円（前期は当期純損失14億69百万円）になりました。

部門別の概況

（アミューズメント施設部門）

ゲーム部門につきましては、既存部門において、前期

閉鎖した店舗の売上が影響し、やや低調に推移しましたが、当期オープンしたディノスノルベサ（平成18年5月）、ゲオ店舗内にオープンした4ゲームコーナー（同年2月オープンのアミューズメントパークSHOWA含む）の売上が寄与したことなどにより、売上高は前期比8.5%増と上回りました。

ボウリング部門につきましては、スガイコンパル（平成17年9月）及びスガイアポロン（平成18年1月）を閉鎖した影響、記録的な猛暑のマイナス影響などがありましたが、全国的なボウリングの低調傾向が緩和し回復傾向にあること、競合他社のセンター数が減少したこと、並びにディノスノルベサがオープンしたことなどにより、売上高は前期比6.6%増と上回りました。

カラオケ部門につきましては、後半回復傾向がみられたものの競合店の増加の影響等により低調傾向が続き、前期比11.4%減となりました。

その他部門につきましては、ディノスノルベサダーツバー（同年5月）をオープンしましたが、スガイ24の閉鎖、ビリヤード部門の売上の低迷傾向が続いたことにより、前期比20.9%減となりました。

以上の結果、アミューズメント施設部門売上高は、62億54百万円（前期比5.9%増）となりました。

（映画興行部門）

映画興行部門につきましては、「ダ・ヴィンチ・コード」・「M:i:III」等の大作、「不都合な真実」などの単館系映画がヒットし、映画興行部門売上高は9億58百万円（前期比4.6%増）となりました。

（その他）

その他につきましては、札幌市のスガイ24の賃貸、苫小牧市のボウリング場跡地利用による賃貸など、不動産賃貸収入が増加しましたが、レンタル・リサイクル事業部門を、前期9月にゲオグループ入りしたことに伴い、ゲオの直管（1店は閉鎖）としたことにより、67百万円（前期比39.3%減）となりました。

貸借対照表

(単位：千円)

科 目	金 額		科 目	金 額	
	第53期 平成19年3月31日現在	第52期 平成18年3月31日現在		第53期 平成19年3月31日現在	第52期 平成18年3月31日現在
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	1,765,969	1,750,425	流動負債	2,053,621	2,229,253
現金及び預金	1,255,810	1,179,996	買掛金	107,412	97,218
売掛金	118,420	109,519	一年以内償還予定の社債	85,000	85,000
有価証券	190,828	200,483	一年以内返済予定の長期借入金	1,247,900	1,213,650
商品	14,473	21,001	一年以内返済予定の長期未払金	54,421	170,643
貯蔵品	64,492	55,598	未払金	373,227	451,299
前払費用	59,735	55,147	未払費用	55,821	48,845
繰延税金資産	59,127	123,991	未払法人税等	15,173	11,674
未収入金	697	2,353	未払消費税等	37,547	22,603
その他	2,454	2,353	前受金	26,727	17,784
貸倒引当金	△ 70	△ 20	預り金	12,917	11,996
固定資産	10,761,976	11,283,282	賞与引当金	37,322	36,593
有形固定資産	8,935,641	9,452,854	その他の負債	149	61,944
建物	3,674,143	3,803,797	固定負債	5,336,174	5,750,000
構築物	67,454	58,190	社債借入金	222,500	307,500
機械及び装置	29,186	40,759	長期借入金	4,788,435	5,115,435
アミューズメント機器	840,312	847,283	長期未払金	72,994	73,216
車両運搬具	390	601	繰延税金負債	9,841	-
工具器具備品	182,446	163,512	退職給付引当金	149,380	145,181
土地	4,131,791	4,380,729	役員退職慰労引当金	-	103,282
建設仮勘定	9,917	157,980	預り金	34,496	5,385
無形固定資産	9,822	10,542	預り保証金	54,235	-
ソフトウェア	1,695	2,414	長期前受収益	4,291	-
電話加入権	8,127	8,127	負債合計	7,389,795	7,979,253
投資その他の資産	1,816,511	1,819,884	(資本の部)		
投資有価証券	292,770	323,101	資本	-	948,775
出資金	576	576	資本剰余金	-	1,128,995
長期貸付金	313,716	336,524	資本準備金	-	1,128,995
長期前払費用	87,202	77,356	利益剰余金	-	2,919,403
差入保証金	1,122,040	1,078,501	利益準備金	-	61,000
繰延税金資産	-	3,648	任意積立金	-	4,228,173
その他	205	176	固定資産圧縮積立金	-	188,173
資産合計	12,527,945	13,033,707	別途積立金	-	4,040,000
			当期未処分利益	-	△ 1,369,770
			株式等評価差額金	-	57,280
			資本合計	-	5,054,454
			負債及び資本合計	-	13,033,707
			(純資産の部)		
			株主資本	5,093,336	-
			資本	948,775	-
			資本剰余金	1,128,995	-
			資本準備金	1,128,995	-
			利益剰余金	3,021,186	-
			利益準備金	61,000	-
			その他利益剰余金	2,960,186	-
			別途積立金	2,600,000	-
			固定資産圧縮積立金	175,399	-
			繰越利益剰余金	184,786	-
			自己株式	△ 5,620	-
			評価・換算差額等	44,812	-
			その他有価証券評価差額金	44,812	-
			純資産合計	5,138,149	-
			負債及び純資産合計	12,527,945	-

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額	
	第53期 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)	第52期 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
売上高	7,280,361	6,934,256
売上原価	6,169,246	5,831,941
売上総利益	1,111,114	1,102,315
販売費及び一般管理費	855,468	817,110
営業利益	255,646	285,205
営業外収益	31,711	21,826
受取利息及び配当金	11,986	9,876
アミューズメント機器売却益	7,985	879
雇用促進奨励金等	3,000	3,135
協賛金収入	4,252	4,000
その他	4,486	3,935
営業外費用	175,474	201,746
支払利息	145,528	148,993
社債費用	5,970	7,380
アミューズメント機器処分損	19,376	41,328
その他	4,598	4,044
経常利益	111,882	105,284
特別利益	400,813	92,663
投資有価証券売却益	-	6,944
固定資産売却益	351,731	85,718
役員退職慰労引当金戻入益	49,082	-
特別損失	291,637	1,804,854
固定資産売却損	40	1,538
固定資産除却損	268,448	304,325
投資有価証券売却損	9,838	-
差入保証金返還損	3,285	23,081
減損損失	2,470	1,473,791
その他	7,554	2,118
税引前当期純利益又は純損失	221,058	△ 1,606,906
法人税、住民税及び事業税	13,778	11,622
法人税等調整額	92,587	△ 148,533
当期純利益又は純損失	114,693	△ 1,469,995
前期繰越利益	-	100,226
当期末処分利益	-	△ 1,369,769

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。